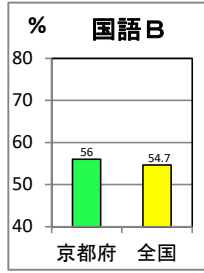
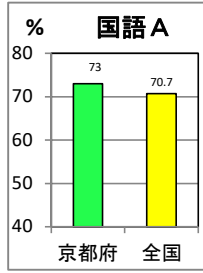


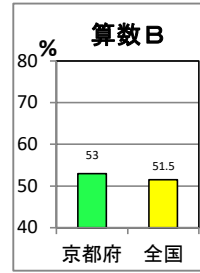
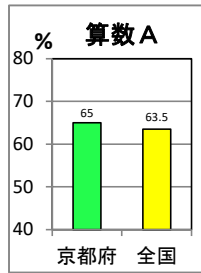
## II 教科に関する調査結果の概要

### 1 小学校の概要

#### (1) 国語



#### (2) 算数



#### (3) 理科

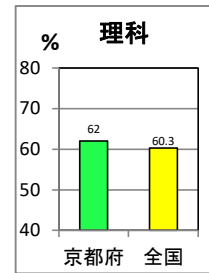


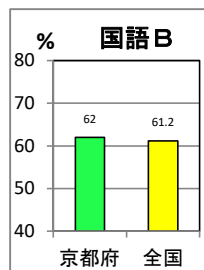
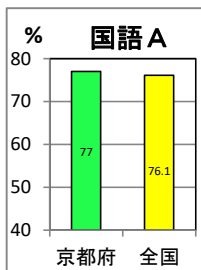
表1 小学校 平均正答率(京都府・全国とも公立学校)

教科等	国語				算数				理科	
	A「知識」		B「活用」		A「知識」		B「活用」		京都府	全国
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国		
30年度	73	70.7	56	54.7	65	63.5	53	51.5	62	60.3
29年度	76	74.8	59	57.5	80	78.6	48	45.9		
28年度	74.2	72.9	59.4	57.8	79.9	77.6	48.6	47.2		
27年度	72.1	70.0	67.5	65.4	77.6	75.2	47.5	45.0	62.2	60.8
26年度	73.3	72.9	56.9	55.5	79.9	78.1	59.7	58.2		
25年度	65.8	62.7	52.1	49.4	79.2	77.2	61.1	58.4		
24年度	82.7~ 83.8	81.4~ 81.7	57.2~ 59.1	55.4~ 55.8	75.7~ 77.3	73.1~ 73.5	60.9~ 62.7	58.7~ 59.1	61.6~ 63.2	60.8~ 61.1
22年度	84.8~ 86.2	83.2~ 83.5	79.4~ 81.3	77.7~ 78.0	77.3~ 79.2	74.0~ 74.4	51.6~ 53.9	49.1~ 49.5		
21年度	71.6	69.9	53.4	50.5	82.2	78.7	56.6	54.8		
20年度	68.4	65.4	53.7	50.5	75.3	72.2	53.3	51.6		
19年度	82.8	81.7	64.0	62.0	85.3	82.1	66.4	63.6		

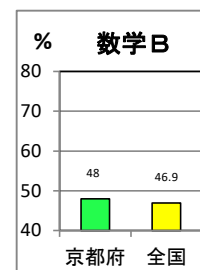
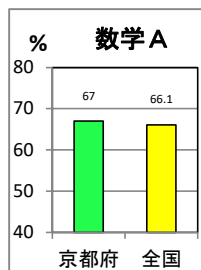
○ 国語A、国語B、算数A、算数B、理科の全てにおいて、平均正答率が全国平均を上回っています。

### 2 中学校の概要

#### (1) 国語



#### (2) 数学



#### (3) 理科

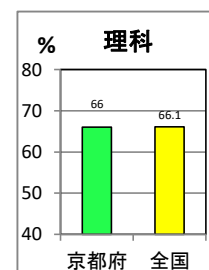


表2 中学校 平均正答率(京都府・全国とも公立学校)

教科等	国語				算数				理科	
	A「知識」		B「活用」		A「知識」		B「活用」		京都府	全国
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国		
30年度	77	76.1	62	61.2	67	66.1	48	46.9	66	66.1
29年度	78	77.4	73	72.2	66	64.6	49	48.1		
28年度	75.8	75.6	67.2	66.5	63.3	62.2	45	44.1		
27年度	76.7	75.8	66.5	65.8	65.3	64.4	42.5	41.6	52.6	53.0
26年度	79.4	79.4	51.3	51.0	67.7	67.4	60.1	59.8		
25年度	76.3	76.4	68.2	67.4	64.2	63.7	42.9	41.5		
24年度	74.2~ 75.4	75.0~ 75.2	61.5~ 62.9	63.2~ 63.4	61.6~ 63.3	62.0~ 62.3	47.3~ 49.6	49.2~ 49.5	48.7~ 50.3	50.9~ 51.1
22年度	74.2~ 75.3	75.0~ 75.2	63.4~ 64.8	65.1~ 65.5	62.8~ 64.6	64.4~ 64.8	40.9~ 42.9	43.1~ 43.5		
21年度	75.9	77.0	73.0	74.5	62.3	62.7	55.5	56.9		
20年度	73.5	73.6	61.0	60.8	64.1	63.1	49.5	49.2		
19年度	81.4	81.6	72.0	72.0	72.8	71.9	61.2	60.6		

○ 国語A、国語B、数学A、数学Bにおいて、平均正答率が全国平均を上回っています。

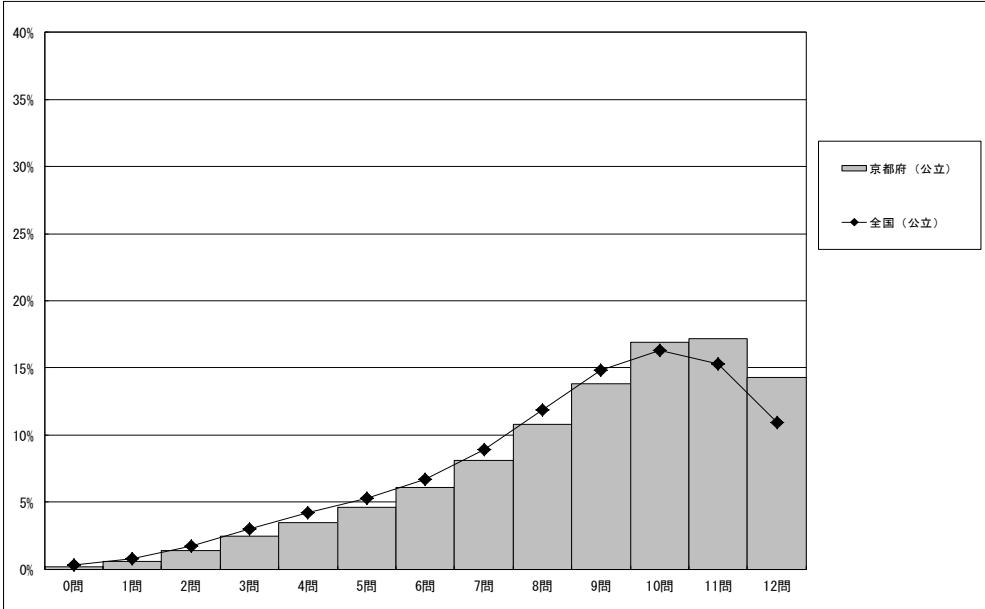
### 3 小学校 正答数の分布状況 ア 国語A(主として知識)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

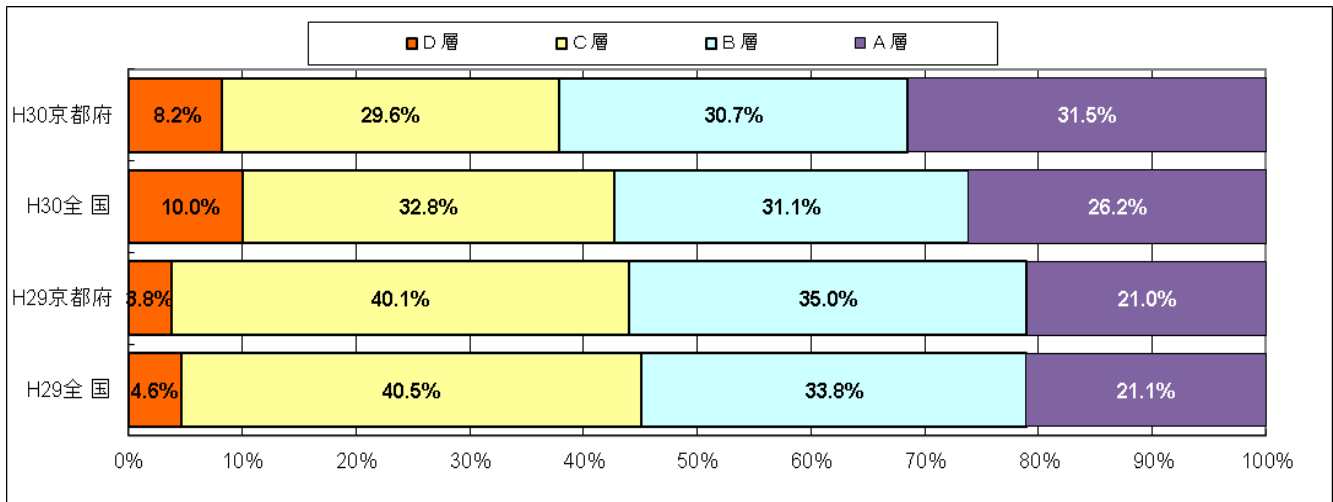
	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府 (公立)	20,291	8.8 / 12	73	9.0	2.6
全国 (公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7

正答数	正答数集計値		
	児童数	割合 (%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
12問	2,892	14.3	10.9
11問	3,486	17.2	15.3
10問	3,432	16.9	16.3
9問	2,806	13.8	14.8
8問	2,195	10.8	11.9
7問	1,649	8.1	8.9
6問	1,233	6.1	6.7
5問	932	4.6	5.3
4問	713	3.5	4.2
3問	500	2.5	3.0
2問	294	1.4	1.7
1問	112	0.6	0.8
0問	47	0.2	0.3

正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)



#### ◇【小学校国語A】 A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校国語Aの出題数は12問あり、全国の平均正答数が8.5問です。したがって、0～4問がD層、5～8問がC層、9～10問がB層、11～12問がA層となります。

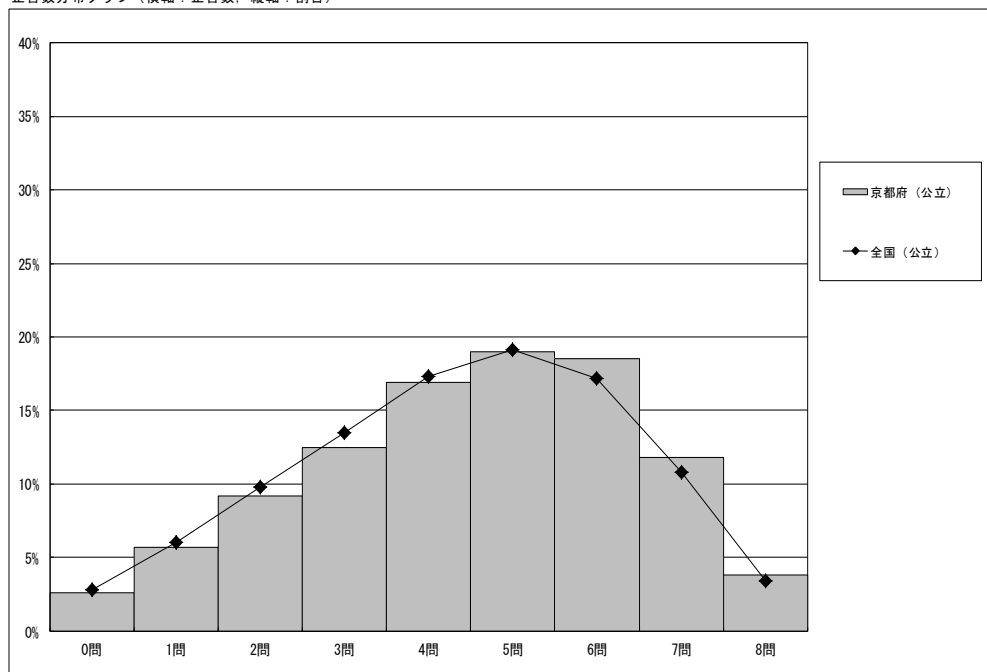
## イ 国語B(主として活用)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

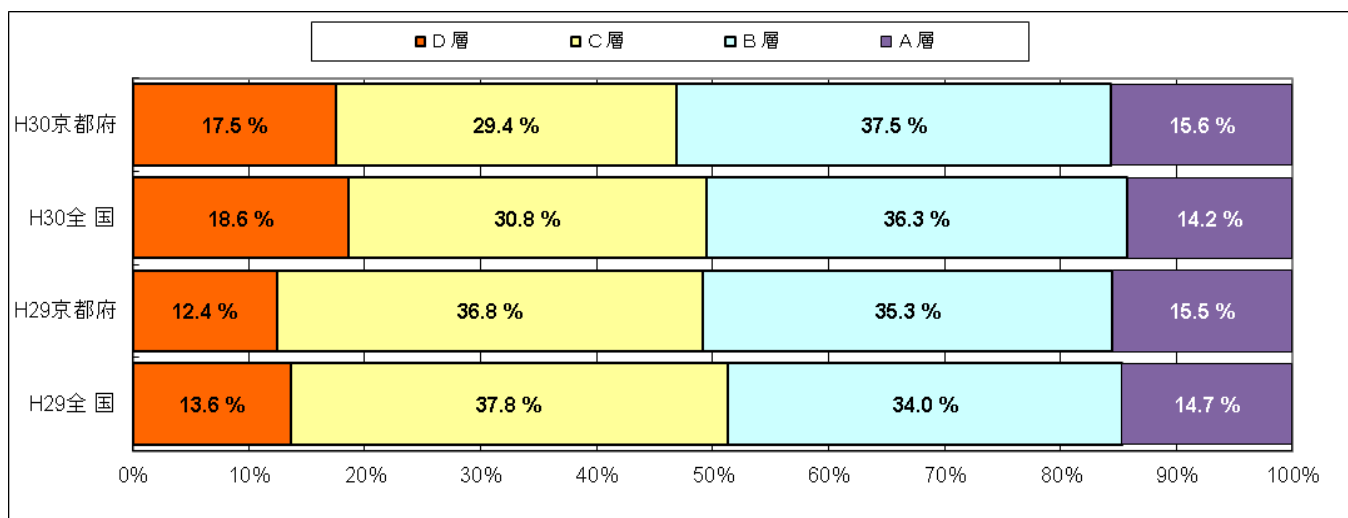
	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	20,288	4.5 / 8	56	5.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9

正答数	正答数集計値		
	児童数	割合(%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
8問	774	3.8	3.4
7問	2,401	11.8	10.8
6問	3,747	18.5	17.2
5問	3,861	19.0	19.1
4問	3,419	16.9	17.3
3問	2,531	12.5	13.5
2問	1,874	9.2	9.8
1問	1,149	5.7	6.0
0問	532	2.6	2.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



### ◇【小学校国語B】A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校国語Bの出題数は8問あり、全国の平均正答数が4.4問です。したがって、0～2問がD層、3～4問がC層、5～6問がB層、7～8問がA層となります。

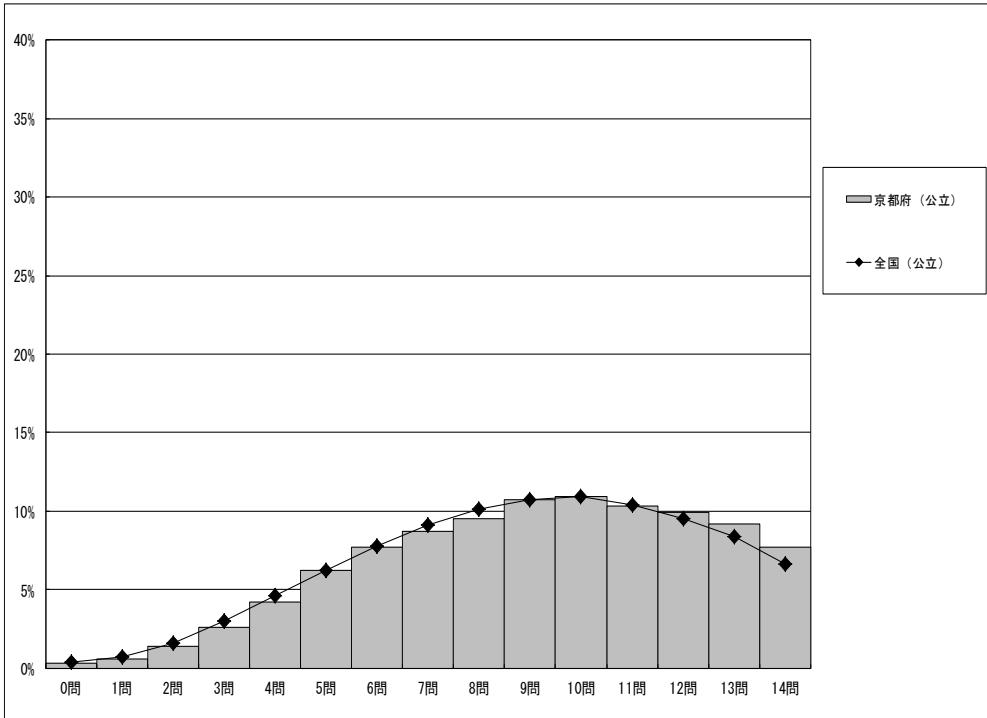
## ウ 算数A(主として知識)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

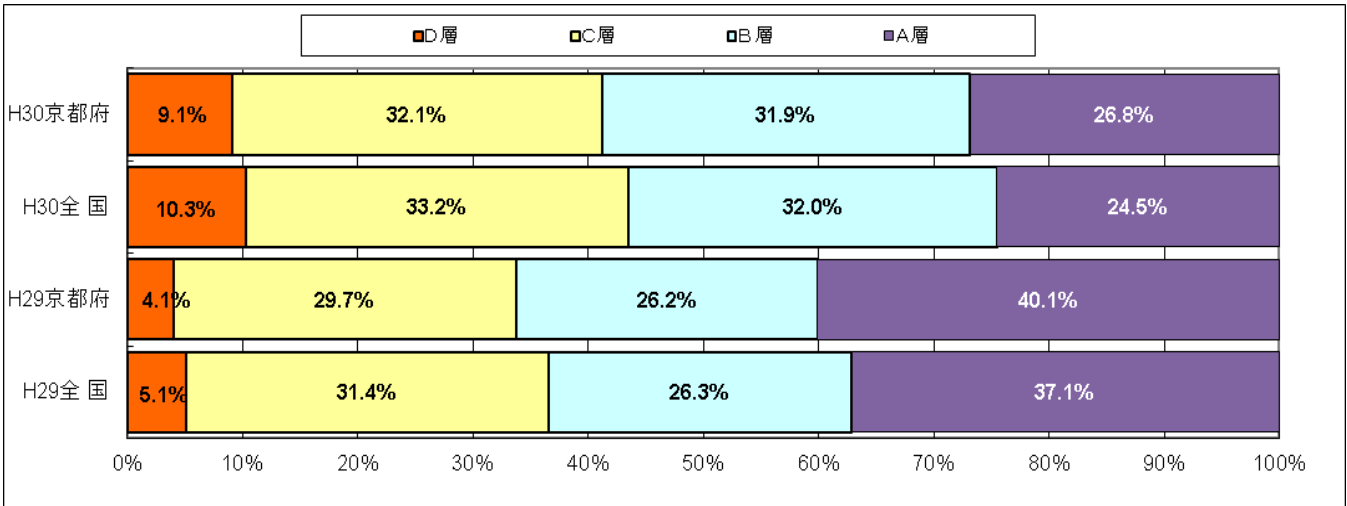
	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府 (公立)	20,292	9.1 / 14	65	9.0	3.2
全国 (公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2

正答数	正答数集計値		
	児童数	割合 (%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
14問	1,560	7.7	6.6
13問	1,877	9.2	8.4
12問	2,005	9.9	9.5
11問	2,089	10.3	10.4
10問	2,215	10.9	10.9
9問	2,170	10.7	10.7
8問	1,937	9.5	10.1
7問	1,760	8.7	9.1
6問	1,568	7.7	7.8
5問	1,258	6.2	6.2
4問	849	4.2	4.6
3問	537	2.6	3.0
2問	292	1.4	1.6
1問	120	0.6	0.7
0問	55	0.3	0.4

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



### ◇【小学校算数A】 A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校算数Aの出題数は14問あり、全国の平均正答数が8.9問です。したがって、0～4問がD層、5～8問がC層、9～11問がB層、12～14問がA層となります。

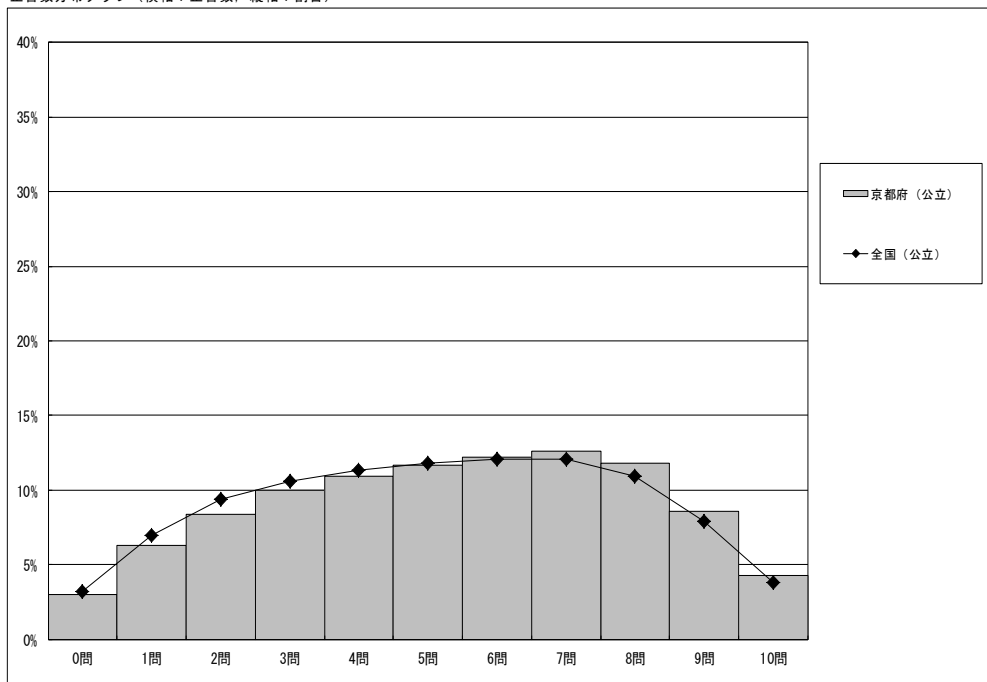
## エ 算数B(主として活用)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

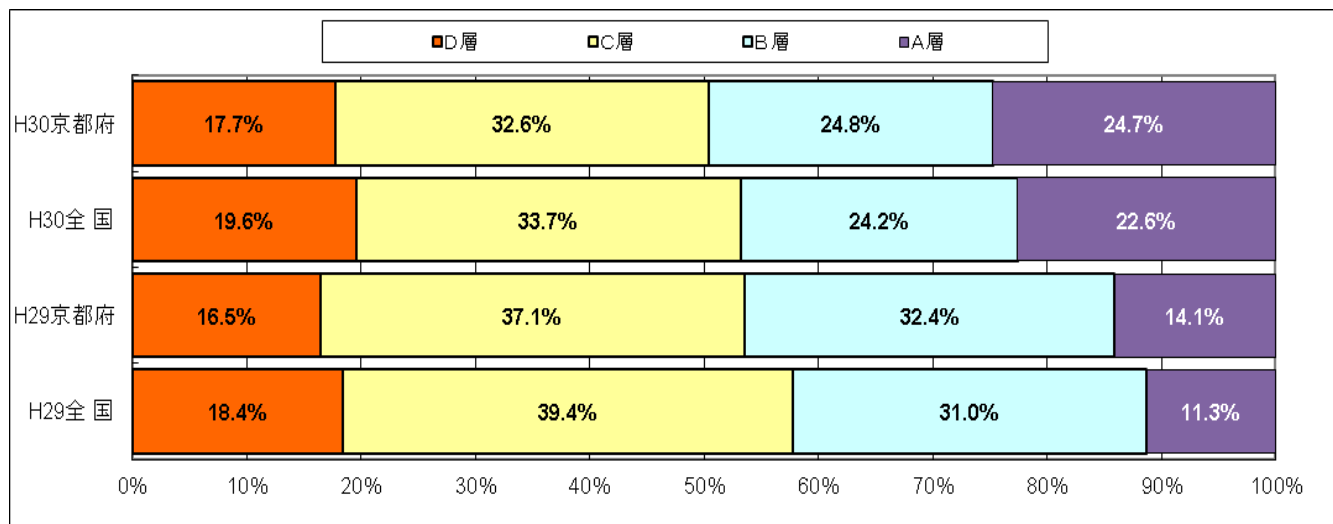
	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府 (公立)	20,296	5.3 / 10	53	5.0	2.7
全国 (公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7

正答数	正答数集計値		
	児童数	割合 (%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
10問	882	4.3	3.8
9問	1,750	8.6	7.9
8問	2,386	11.8	10.9
7問	2,549	12.6	12.1
6問	2,485	12.2	12.1
5問	2,384	11.7	11.8
4問	2,221	10.9	11.3
3問	2,031	10.0	10.6
2問	1,703	8.4	9.4
1問	1,288	6.3	7.0
0問	617	3.0	3.2

正答数分布グラフ (横軸：正答数, 縦軸：割合)



### ◇【小学校算数B】 A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層（上位）、B層（中上位）、平均正答数未満の児童をC層（中下位）、D層（下位）にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の小学校算数Bの出題数は10問あり、全国の平均正答数が5.1問です。したがって、0～2問がD層、3～5問がC層、6～7問がB層、8～10問がA層となります。

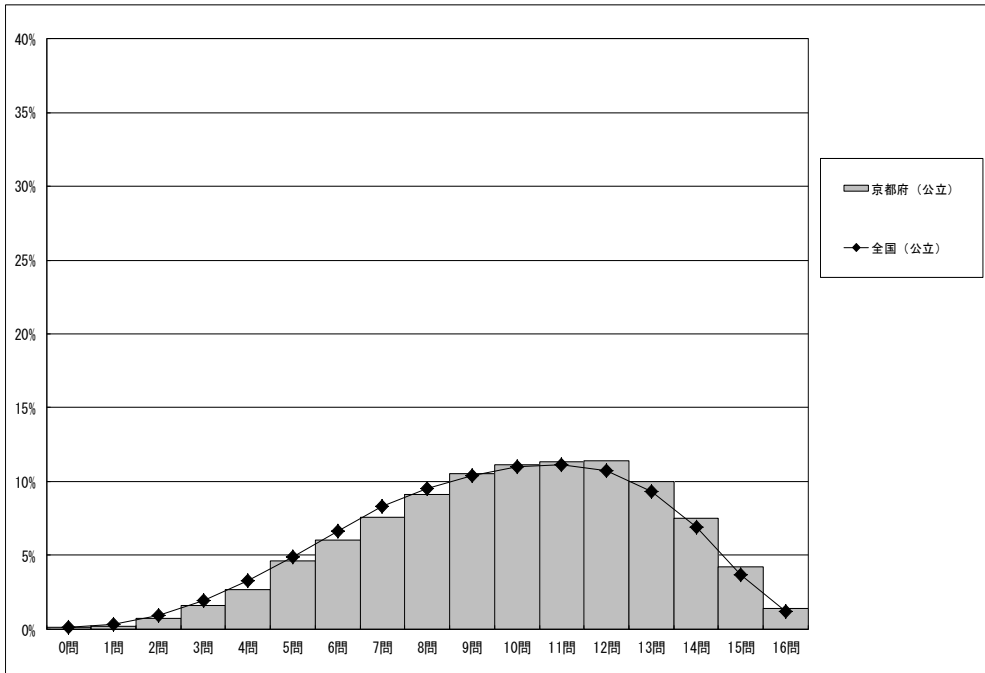
## オ 理科

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

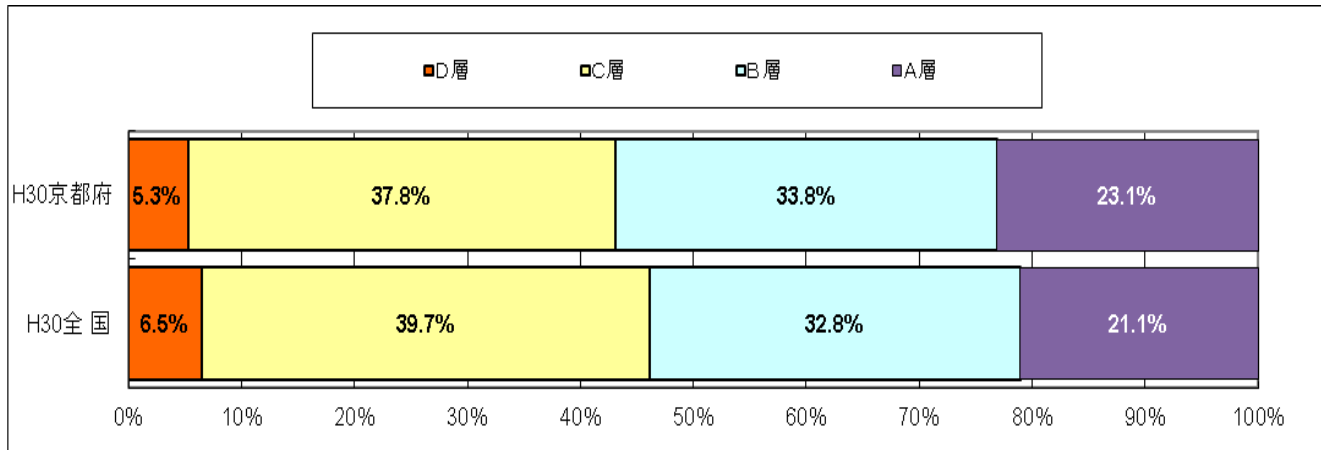
	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府（公立）	20,302	9.9 / 16	62	10.0	3.1
全国（公立）	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2

正答数	正答数集計値		
	児童数	割合 (%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
16問	278	1.4	1.2
15問	848	4.2	3.7
14問	1,526	7.5	6.9
13問	2,034	10.0	9.3
12問	2,323	11.4	10.7
11問	2,285	11.3	11.1
10問	2,257	11.1	11.0
9問	2,126	10.5	10.4
8問	1,855	9.1	9.5
7問	1,550	7.6	8.3
6問	1,216	6.0	6.6
5問	928	4.6	4.9
4問	554	2.7	3.3
3問	320	1.6	1.9
2問	139	0.7	0.9
1問	50	0.2	0.3
0問	13	0.1	0.1

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



### ◇【小学校理科】A～D層の分布状況



○上の正答数分布状況グラフは、児童をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の児童をA層（上位）、B層（中上位）、平均正答数未満の生徒をC層（中下位）、D層（下位）にそれぞれ2分割して表示しています。

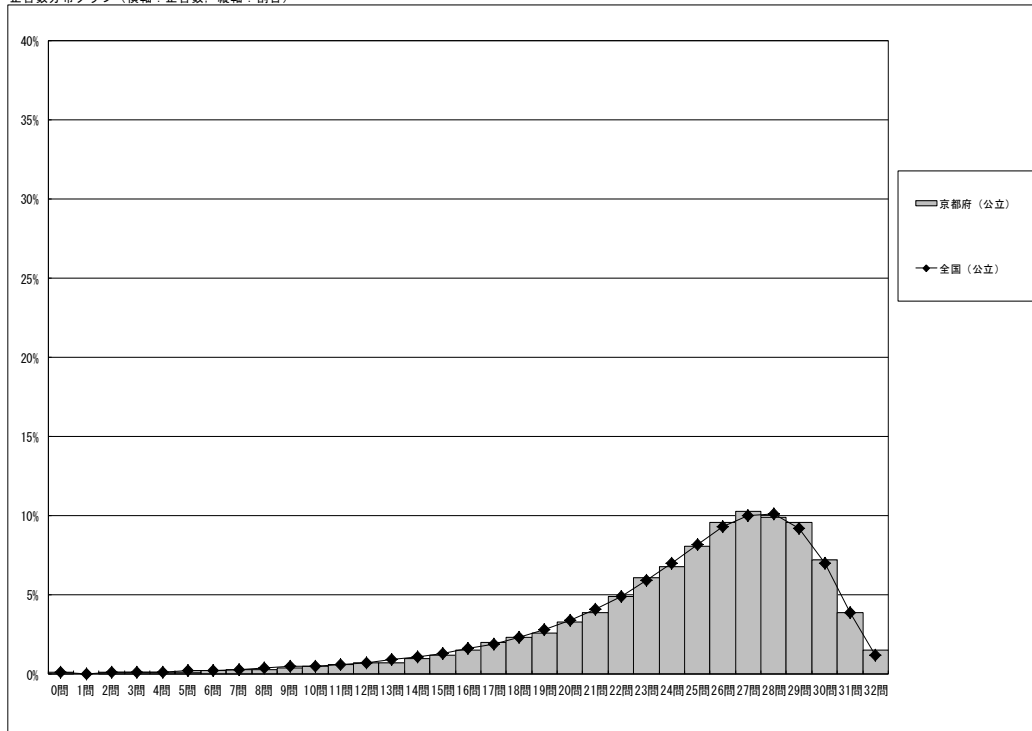
○今年度の小学校理科の出題数は16問あり、全国の平均正答数が9.6問です。したがって、0～4問がD層、5～9問がC層、10～12問がB層、13～16問がA層となります。

#### 4 中学校 正答数の分布状況 ア 国語A(主として知識)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

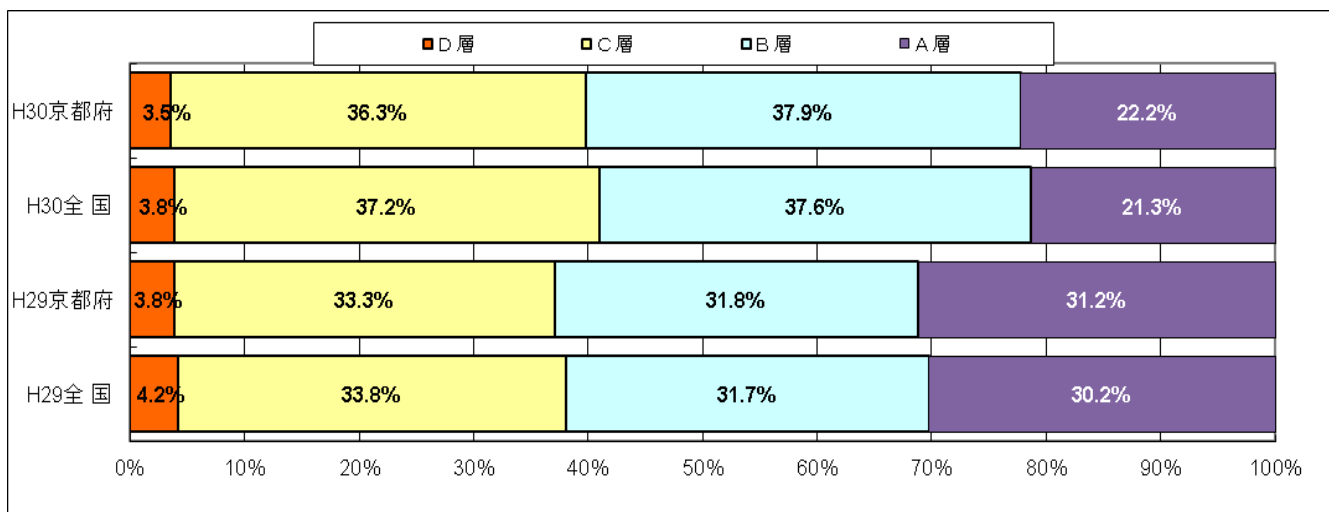
	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,447	24.5 / 32	77	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数	正答数集計値	
	生徒数	割合(%)
	京都府(公立)	全国(公立)
32問	271	1.5
31問	714	3.9
30問	1,325	7.2
29問	1,773	9.6
28問	1,826	9.9
27問	1,899	10.3
26問	1,779	9.6
25問	1,492	8.1
24問	1,262	6.8
23問	1,130	6.1
22問	901	4.9
21問	722	3.9
20問	600	3.3
19問	488	2.6
18問	432	2.3
17問	377	2.0
16問	281	1.5
15問	222	1.2
14問	184	1.0
13問	128	0.7
12問	131	0.7
11問	104	0.6
10問	86	0.5
9問	73	0.4
8問	62	0.3
7問	49	0.3
6問	36	0.2
5問	27	0.1
4問	18	0.1
3問	17	0.1
2問	13	0.1
1問	9	0.0
0問	16	0.1

#### ◇【中学校国語A】A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校国語Aの出題数は32問あり、全国の平均正答数が24.3問です。したがって、0～12問がD層、13～24問がC層、25～28問がB層、29～32問がA層となります。

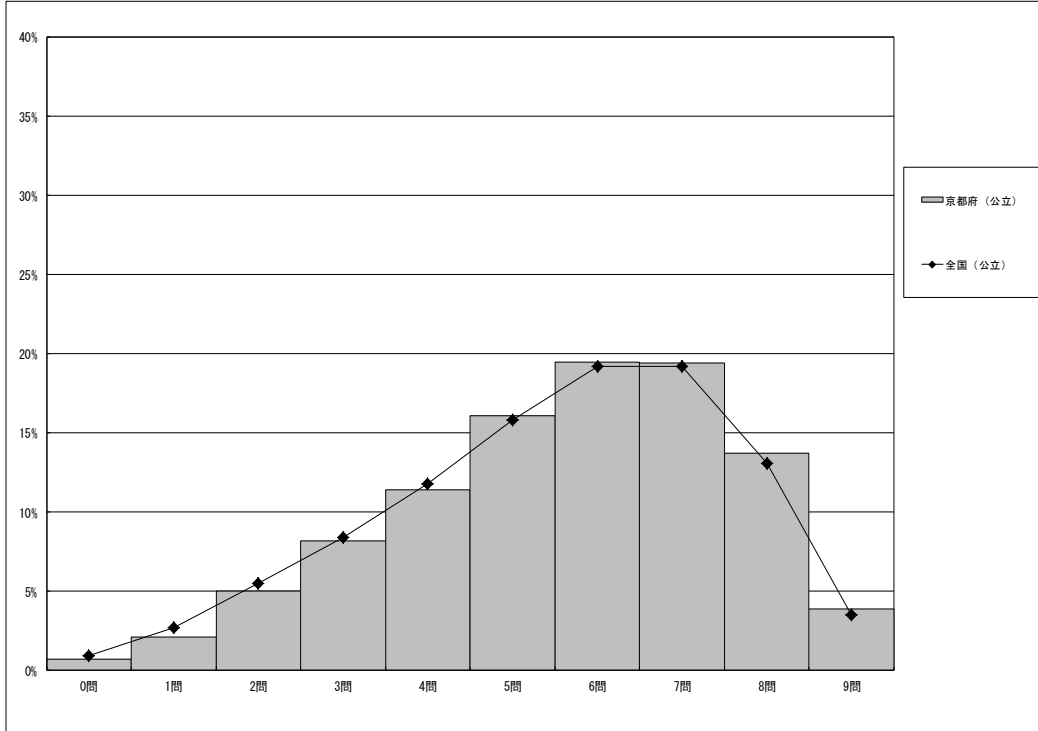
## イ 国語B(主として活用)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

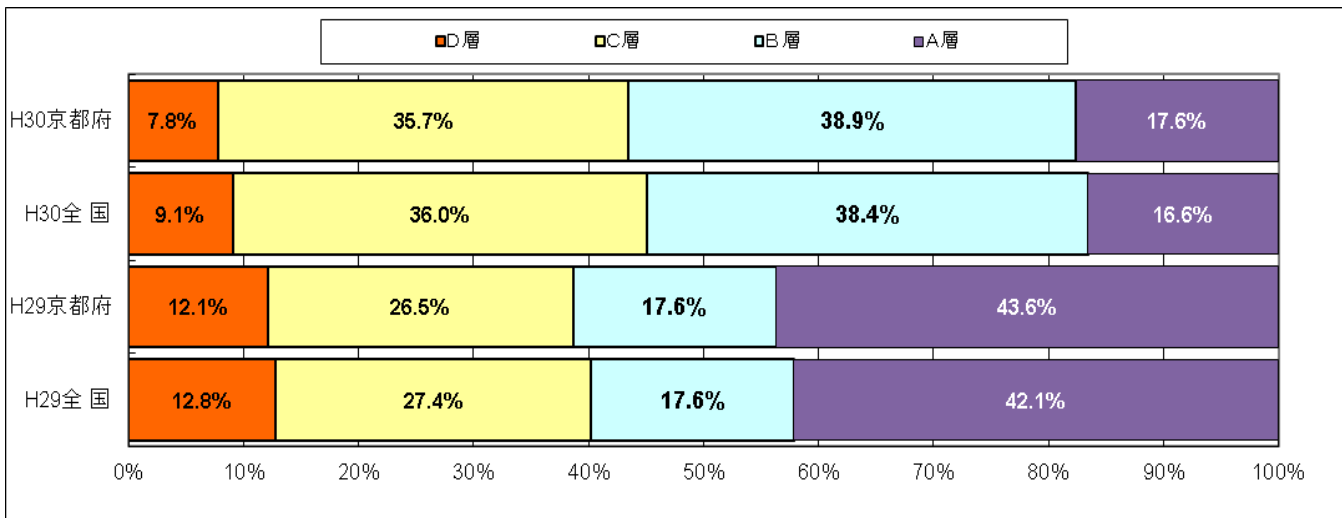
	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,458	5.6 / 9	62	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0

正答数集計値			
正答数	生徒数	割合 (%)	
		京都府(公立)	全国(公立)
9問	711	3.9	3.5
8問	2,522	13.7	13.1
7問	3,579	19.4	19.2
6問	3,599	19.5	19.2
5問	2,978	16.1	15.8
4問	2,110	11.4	11.8
3問	1,508	8.2	8.4
2問	925	5.0	5.5
1問	393	2.1	2.7
0問	133	0.7	0.9

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



### ◇【中学校国語B】 A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校国語Bの出題数は9問あり、全国の平均正答数が5.5問です。したがって、0～2問がD層、3～5問がC層、6～7問がB層、8～9問がA層となります。

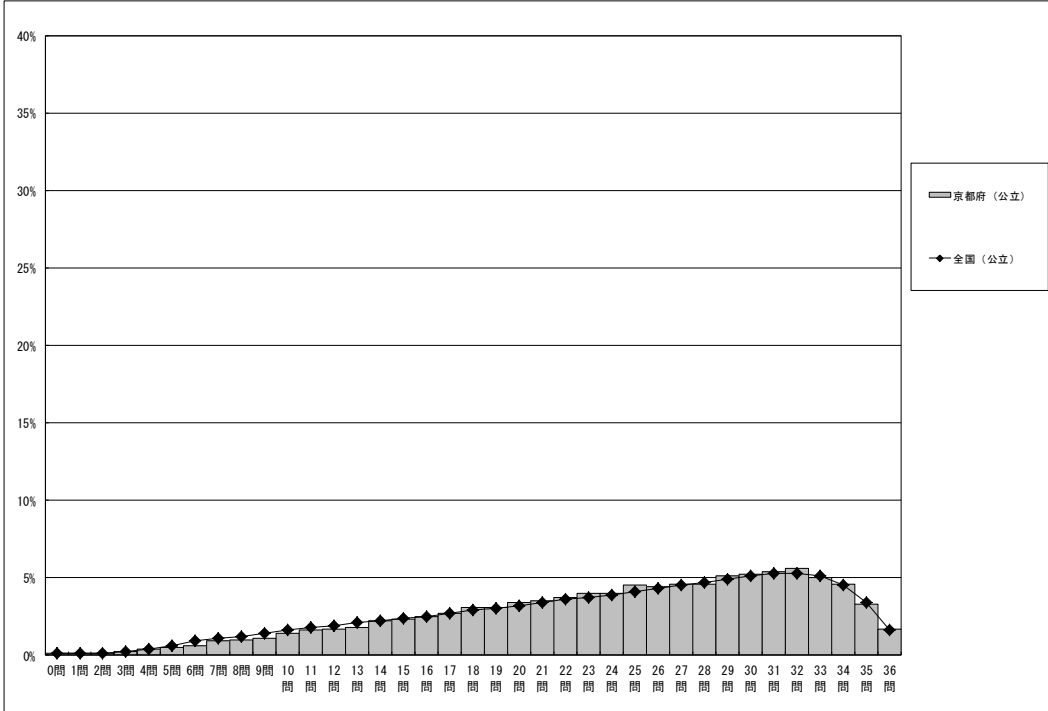


## ウ 数学A(主として知識)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

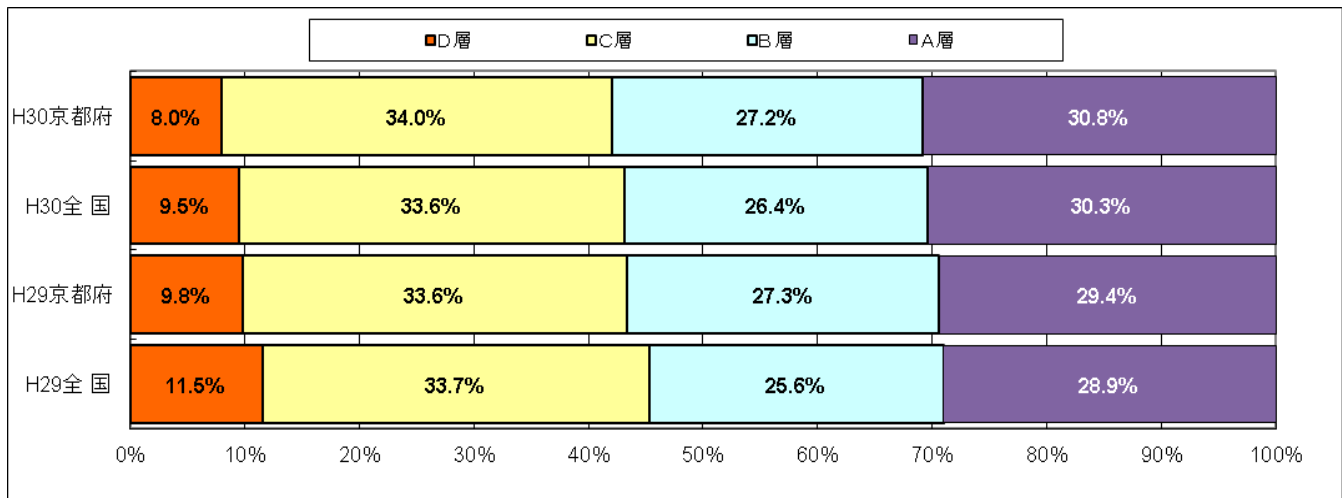
	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,471	24.1 / 36	67	25.0	7.8
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数	正答数集計値		
	生徒数	割合(%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
36問	315	1.7	1.6
35問	611	3.3	3.4
34問	858	4.6	4.5
33問	918	5.0	5.1
32問	1,035	5.6	5.3
31問	991	5.4	5.3
30問	961	5.2	5.1
29問	934	5.1	4.9
28問	842	4.6	4.7
27問	842	4.6	4.5
26問	819	4.4	4.3
25問	828	4.5	4.1
24問	743	4.0	3.9
23問	745	4.0	3.7
22問	692	3.7	3.6
21問	641	3.5	3.4
20問	632	3.4	3.2
19問	580	3.1	3.0
18問	572	3.1	2.9
17問	505	2.7	2.7
16問	470	2.5	2.5
15問	426	2.3	2.4
14問	402	2.2	2.2
13問	339	1.8	2.1
12問	320	1.7	1.9
11問	291	1.6	1.8
10問	255	1.4	1.6
9問	195	1.1	1.4
8問	180	1.0	1.2
7問	167	0.9	1.1
6問	117	0.6	0.9
5問	94	0.5	0.6
4問	69	0.4	0.4
3問	33	0.2	0.2
2問	14	0.1	0.1
1問	18	0.1	0.1
0問	17	0.1	0.1

### ◇【中学校数学A】A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

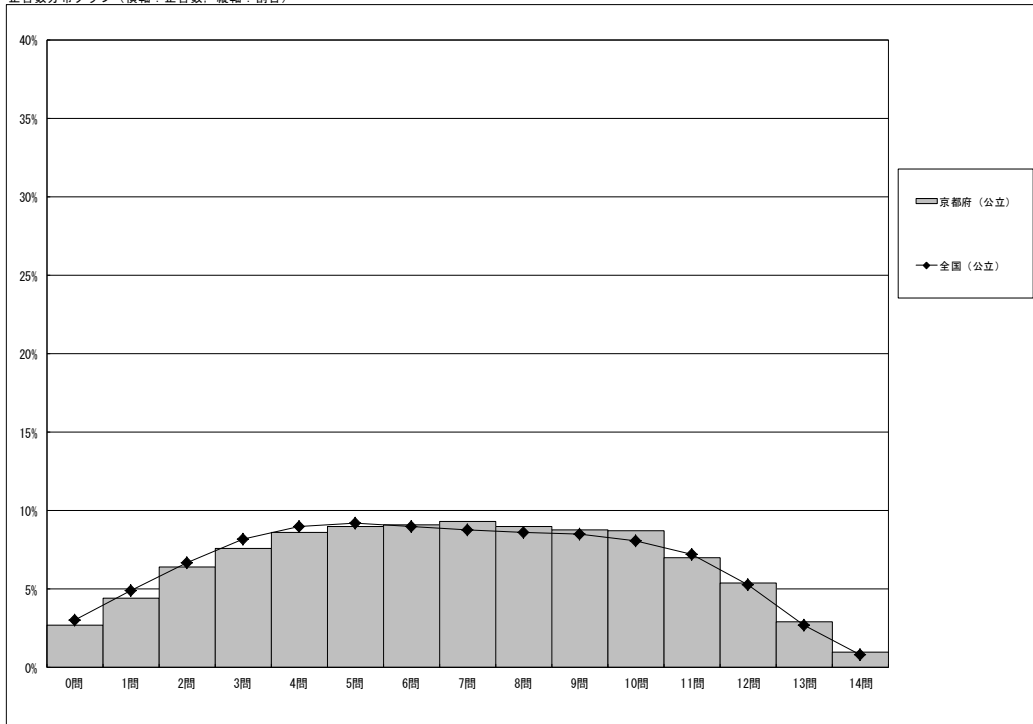
○今年度の中学校数学Aの出題数は36問あり、全国の平均正答数が23.8問です。したがって、0～11問がD層、12～23問がC層、24～29問がB層、30～36問がA層となります。

## エ 数学B(主として活用)

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

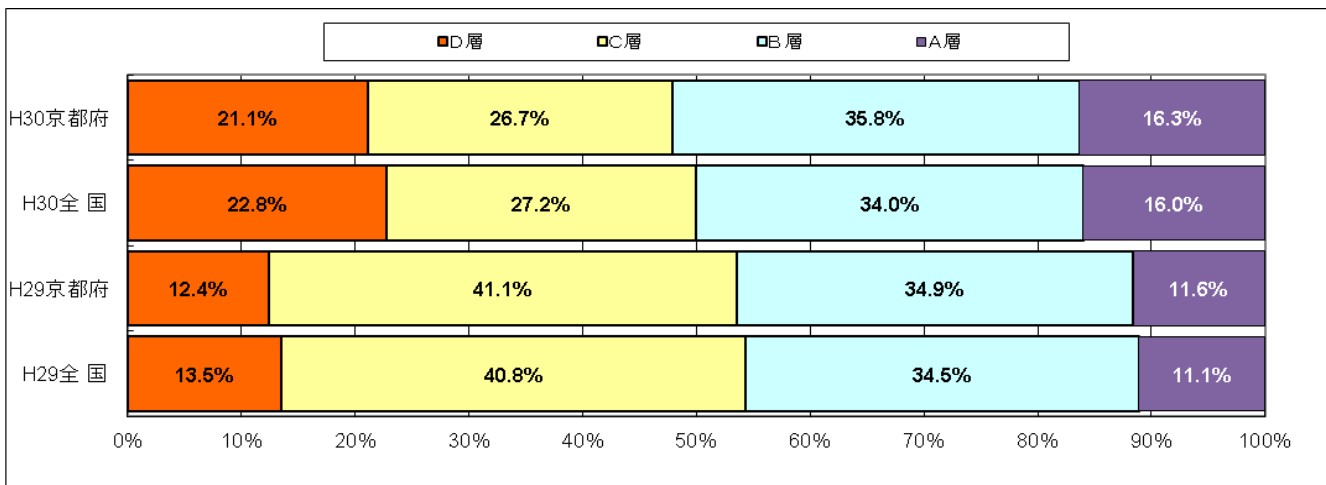
	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府(公立)	18,472	6.7 / 14	48	7.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数	正答数集計値		
	生徒数	割合(%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
14問	180	1.0	0.8
13問	535	2.9	2.7
12問	1,003	5.4	5.3
11問	1,298	7.0	7.2
10問	1,606	8.7	8.1
9問	1,620	8.8	8.5
8問	1,667	9.0	8.6
7問	1,727	9.3	8.8
6問	1,675	9.1	9.0
5問	1,671	9.0	9.2
4問	1,587	8.6	9.0
3問	1,403	7.6	8.2
2問	1,187	6.4	6.7
1問	821	4.4	4.9
0問	492	2.7	3.0

### ◇【中学校数学B】 A～D層の分布状況(平成29年度と30年度の比較)



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割して表示しています。

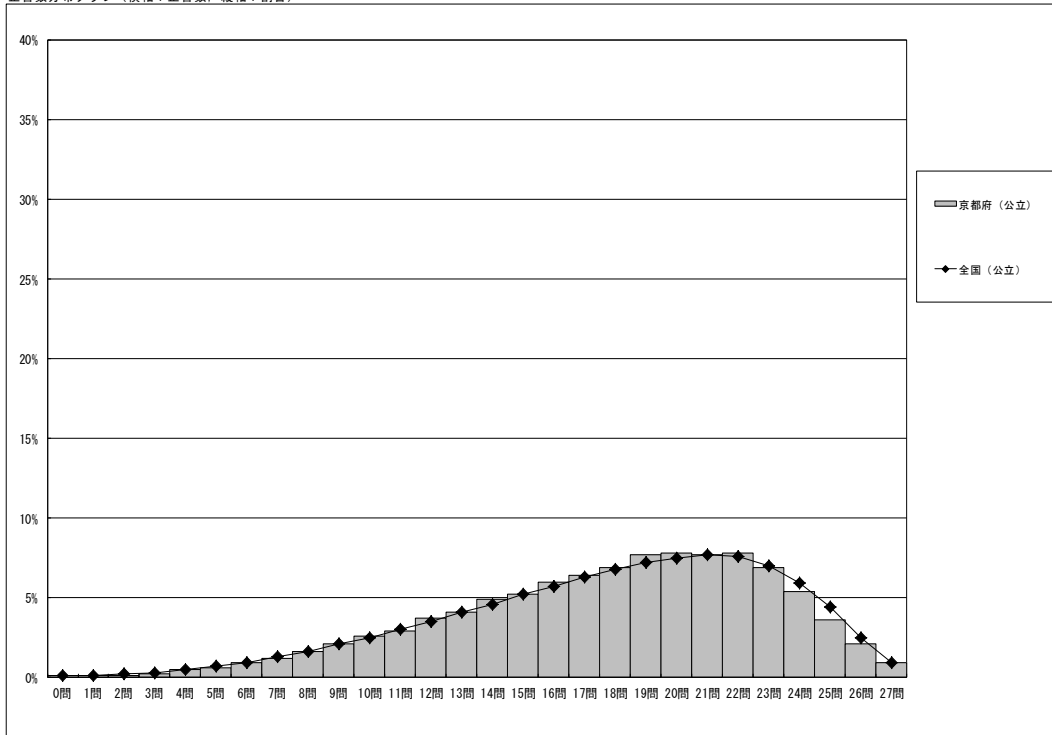
○今年度の中学校数学Bの出題数は14問あり、全国の平均正答数が6.6問です。したがって、0～3問がD層、4～6問がC層、7～10問がB層、11～14問がA層となります。

# オ 理科

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

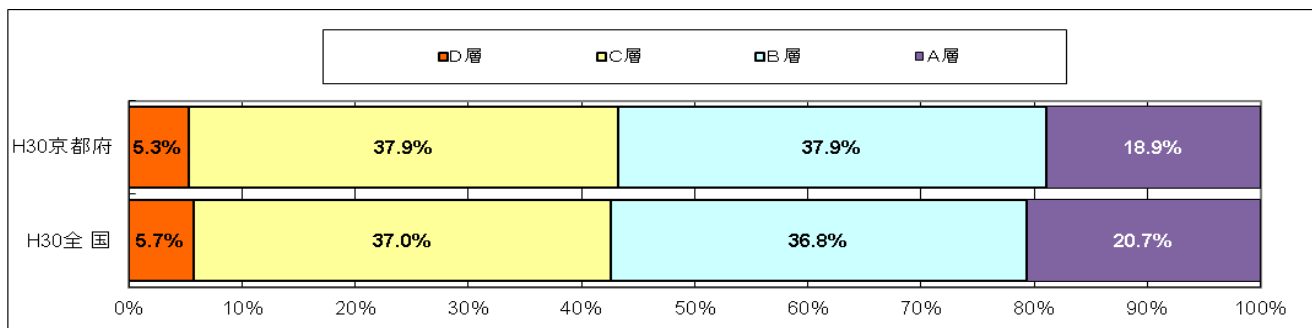
	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府 (公立)	18,484	17.8 / 27	66	19.0	5.1
全国 (公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 割合)



正答数	正答数集計値		
	生徒数	割合 (%)	
	京都府 (公立)	京都府 (公立)	全国 (公立)
27問	164	0.9	0.9
26問	394	2.1	2.5
25問	672	3.6	4.4
24問	996	5.4	5.9
23問	1,275	6.9	7.0
22問	1,436	7.8	7.6
21問	1,432	7.7	7.7
20問	1,442	7.8	7.5
19問	1,432	7.7	7.2
18問	1,270	6.9	6.8
17問	1,188	6.4	6.3
16問	1,109	6.0	5.7
15問	966	5.2	5.2
14問	913	4.9	4.6
13問	750	4.1	4.1
12問	678	3.7	3.5
11問	538	2.9	3.0
10問	476	2.6	2.5
9問	389	2.1	2.1
8問	287	1.6	1.6
7問	215	1.2	1.3
6問	162	0.9	0.9
5問	113	0.6	0.7
4問	88	0.5	0.5
3問	44	0.2	0.3
2問	27	0.1	0.2
1問	18	0.1	0.1
0問	10	0.1	0.1

## ◇【中学校理科】A～D層の分布状況



○上の正答数分布状況グラフは、生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。

○各教科・各年度の平均正答数以上の生徒をA層（上位）、B層（中上位）、平均正答数未満の生徒をC層（中下位）、D層（下位）にそれぞれ2分割して表示しています。

○今年度の中学校理科の出題数は27問あり、全国の平均正答数が17.9問です。したがって、0～8問がD層、9～17問がC層、18～22問がB層、23～27問がA層となります。